韓国の日本語教材制作の一例

国際交流基金制作教材を参考にしたものを中心に

発表者: 朴且煥(高明情報産業高等学校 教諭)

教材名:

『EBS 衛星 1 TV 高校日本語講座』2000 . 2~ EBS 教育放送

『EBS 修能特講日本語』2002.2~ EBS 教育放送

「修能」とは「大学修学能力試験」の略語で、日本の「センター試験」にあたる。

『C&C Japanese』2003.8 韓国学術振興財団助成

『EBS 衛星 1 TV 高校日本語講座』と『EBS 修能特講日本語』

- 1.制作の背景とニーズ
 - 1)2001 学年度から大学修学能力試験(以下、「修能試験」)の選択科目として「日本語」を導入
 - 2)教育放送のテレビ放送用教材開発の必要性
- 2.制作過程
 - 1) 高校の教育課程「日本語」の内容とレベルに合わせる
 - 2)『教科書を作ろう』を参考にする

3. 内容

- 1)学習目標は「意思疎通能力」の伸長
- 2)学習内容は、文字と発音、語彙、文法、意思疎通機能、文化に5分類 12種の第6次高校日本語検定教科書を分析、基本語彙771語及び機能例示文 73文を適用
- 3) 各課は、学習項目提示、例題(単元総合問題)、実践模擬テストで構成

4. 使い方

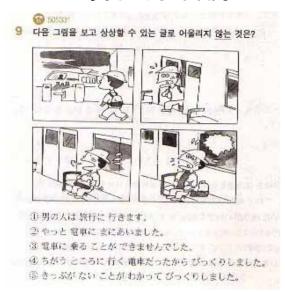
- 1)予習 テレビ視聴 復習
- 2)利用媒体

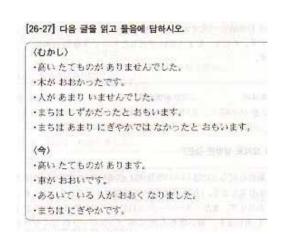
TV 再放送、TV 総合編放送、インターネット放送、電話学習

< 『教科書を作ろう れんしゅう編』を参考にした部分>

「11-6 どうなるとおもいますか」

「11-5 昔のまち・今のまち・将来のまち」





5.制作物への評価

- 1)修能試験受験書の先駆的な役割
- 2) 修能試験問題に EBS 教材の内容を積極的に反映させるという「韓国教育課程 評価院」の方針
- 3) 高校で副教材として採択され、修能試験で日本語選択の学生が購入

今後の課題としては、

- 1)難易度の調整(高から低へ)
- 2) 意思疎通機能に関する出題の改善
- . C&C Japanese (http://www.sunmoon.ac.kr/~edujp/index_j.html)
- 1.制作の背景とニーズ
 - 1)初級から中級までの日本語学習者を対象とした ICT 教材の必要性が高まる *最終的に本教材は、上級までを対象とした
 - 2)韓国学術振興財団から助成を受ける

2.制作過程

- 1)大学教員と高校教員の共同開発安容柱(鮮文大学) 朴才煥(京畿大学) 朴且煥(高明情報産業高等学校)
- 2)『写真パネルバンク』の項目分類、説明文の一部を参考にする

3.内容

- 1) 学習目標は日本語会話力の伸長、異文化理解
- 2)構成は、以下の通り

事前テスト

初 級 会話: 会話1 会話3 会文文 文文 文文 理文化講座

評価: クイズ 診断評価 学習ゲーム

深化学習

中 級

会話: 会話1

会話 2

会話 3 異文化:

異文化理解

文化講座

深化学習

評価:

クイズ

診断評価 学習ゲーム 上 級

会話:

会話 1

会話 2 会話 3

異文化:

異文化理解

文化講座

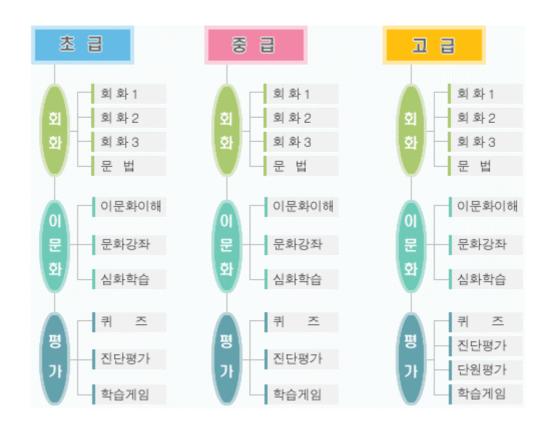
深化学習

評価:

クイズ

診断評価

学習ゲーム



辞

書

3) 学習内容の文化区分は、以下の通り

衣食住と余暇(衣、食、住、遊)

社会生活(交通、医療、通信とサービス、教育と行政)

行事とスポーツ(年中行事、祭り、冠婚葬祭、スポーツ)

日常生活(食事、勉強と趣味、交際、アルバイト)

4)その他

- ・会話内容に文化的トピックを取り入れている
- ・会話文には日本語字幕と韓国語字幕をつける
- ・音声は、「会話」と「異文化理解」は日本語母語話者が、「文法」の説明は 韓国人講師が担当
- ・「深化学習」では、日本のサイトにリンク
- ・クイズやゲームなどを取り入れる

4. 使い方

- 1)学習コースは全部で16コースあり、順次学習も選択学習も可能
- 2)「事前テスト」の結果で、40点以下は初級、45~75点は中級、80点以上は高級レベルへ進む。(配点は、1問5点)
 - *螺旋形構造なのでレベル間の出入りは容易
- 3)「評価」の結果次第で上のレベルへ進むことができる

5.制作物への評価

- 1)大学生向けの ICT 教材としては最初のもの
- 2) 主なターゲットは大学生だが、高校生や一般人も学習可能
- 3)自律学習を可能にしている
- 4)日本語学習への興味を誘発している